

卒業研究		演習	教授 大西 一成
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21300401

1. テーマ

国内外に生起する経済問題を中心に「研究成果としての卒業論文」の作成を目指す。より具体的には財政問題、少子高齢化問題、地域社会さらには通商問題、金融・為替、企業経営等における諸問題等も研究対象とする。

2. ゼミのねらい・概要

各ゼミのメンバーの問題意識に基づいた研究テーマについて、卒業論文を仕上げることをねらいとする。論文を書き進めることについては、各段階に応じて適宜、指導していく。また、ゼミ内での中間発表・成果発表も行う。卒業研究については、既に提出している「卒業研究を進めるためのスケジュール」に従ったフィールド・ワーク、執筆等を進めることとする。後期においては、最終的な卒業論文の仕上げを目指した中間発表をゼミ内で行う。

3. ゼミ計画

<p>〈前期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス（履修指導，卒業論文作成計画等） 2. 卒業論文作成指導①（過年度の卒業論文等の紹介等） 3. 卒業論文作成指導②（論文において求められる要点） 4. 卒業論文作成指導③（テーマ設定への準備と工程表） 5. 卒業論文作成指導④（論文作成上のルール） 6. 卒業論文作成指導⑤（図表，写真等の利用について） 7. 卒業論文作成指導⑥（テーマ設定の進捗状況について） 8. 卒論テーマの口頭発表と質疑応答（数名程度） 9. 卒論テーマの口頭発表と質疑応答（数名程度） 10. 卒論テーマの口頭発表と質疑応答（数名程度） 11. 卒論テーマの口頭発表と質疑応答（数名程度） 12. 卒論テーマの口頭発表と質疑応答（数名程度） 13. 卒論テーマの口頭発表と質疑応答（数名程度） 14. 卒論テーマの口頭発表と質疑応答（数名程度） 15. 前期の総括と夏休み，後期に向けた学修計画 	<p>〈後期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス（卒業論文完成に向けた計画を中心に） 2. 卒業論文の中間発表と質疑応答（数名程度） 3. 卒業論文の中間発表と質疑応答（数名程度） 4. 卒業論文の中間発表と質疑応答（数名程度） 5. 卒業論文の中間発表と添削指導（数名程度） 6. 卒業論文の中間発表と添削指導（数名程度） 7. 卒業論文の中間発表と添削指導（数名程度） 8. 中間発表に関する総括 9. 卒業論文の最終発表と質疑応答（数名程度） 10. 卒業論文の最終発表と質疑応答（数名程度） 11. 卒業論文の最終発表と質疑応答（数名程度） 12. 卒業論文の最終発表と添削指導（数名程度） 13. 卒業論文の最終発表と添削指導（数名程度） 14. 卒業論文の最終発表と添削指導（数名程度） 15. 総括
--	--

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

ゼミ内における卒論発表への十分な準備としては、日々2時間程度は必要であると考えます。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

卒論のテーマ発表，中間発表，最終発表等において，適宜，添削指導，発表指導を行う。また状況によっては，メールによる指導も適宜行っていく。

6. ゼミにおける学修の到達目標

学術論文の作成の在り方を修得し，考察力，文章作成能力，プレゼンテーション能力の涵養を目指す。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミへの参加度（30%），卒業論文（70%）によって評価する。

8. テキスト・参考文献

各卒業論文のテーマに沿って，文献，論文，データ等について適宜指示する。

9. 受講上の留意事項

卒業論文の完成という目標に向かって、学内外において積極的な調査、資料収集を行うことを重視する。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。金融機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。